

2025年度 事業報告

【公益目的事業】

1. 調査・研究

1-1 調査・研究

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展，石油・エネルギーの安定供給，及び地球環境の保全を図るため，部会活動を中心に調査・研究を行った。

1-1-1 部会活動

(1) 製品部会

- 1) 燃料油分科会では，第25回CFRセタン価照合試験を行った。
- 2) アスファルト分科会では，アスファルト回収試験に用いる溶媒変更の検討を行った。
- 3) 潤滑油分科会では，ホットチューブ試験装置について2026年2月4日(水)に有識者からの情報収集・意見交換を行った。
- 4) 絶縁油分科会では，以下の活動を行った。
 - a) 電気絶縁油の油浸絶縁技術に関する最新動向の調査を，(一社)電気学会と協力して実施した。
 - b) 電気絶縁油中の溶存ガスの分析方法について，調査検討を行った。
 - c) 絶縁油関連の文献を調査し，最新情報の共有化を図った。
- 5) 試験分析分科会では，以下の活動を行った。
 - a) 石油製品中のナトリウム分，カリウム分の分析にICP発光法を適用する検討を行った。
 - b) 微量電量滴定法を用いた石油製品中の塩素分の分析法に関する照合試験を実施するための検討を行った。
 - c) (株)レポインターナショナルを2025年9月19日(金)に訪問し，「バイオ軽油の製造，性状」についての情報収集・意見交換を行った。

(2) 装置部会 装置委員会

- 1) 回転機分科会では，「ドライスクリュの構造と最近の技術動向」及び「往復動圧縮機廻りの配管振動評価と対策」について情報収集・意見交換を行った。
- 2) 計装分科会では，2025年7月4日(金)に「制御システムセキュリティセンター」を訪問し情報収集・意見交換を行った。
- 3) 電気分科会では，「最近の技術動向：保安と環境負荷低減」を年間テーマに，「UFR個別協議時の確認リストの内容について」について情報収集・意見交換を行った。
- 4) 設備保全分科会では，「設備技術事例の紹介」についての情報収集・意見交換を行った。

(3) 経営情報部会

下記WGを設置して調査・検討を行った。WG2では会員企業におけるダイバーシティの取組に関するアンケート調査を実施した。

WG1「石油・エネルギー産業史」

WG2「石油・石油化学産業におけるダイバーシティ推進の動向調査・研究」

(4) 新エネルギー部会

- 1) 鹿児島市南部清掃工場，山川発電所，及び串木野国家石油備蓄基地を2026年3月5日(木)，6日(金)に訪問し，「鹿児島県の次世代エネルギー活用事例」についての情報収集・意見交換を行った。
- 2) 次世代バイオ燃料分科会では，次世代グリーンCO₂燃料技術研究組合，(株)田村バイオマスエナジー，及びエイブルエナジー(同)を2025年10月6日(月)，7日(火)に訪問し，「バイオマスエネルギーの活用」についての情報収集・意見交換を行った。

1-1-2 受託, 参加事業

(一財)JCCP国際石油・ガス・持続可能エネルギー協力機関が実施する①産油・産ガス国事業環境整備事業のうち連携促進事業(テーマ別合同シンポジウム(研究・技術)事業), 及び②産油・産ガス国高度人材育成支援事業のうち産油・産ガス国研究者交流事業に参加し, 調査・研究を実施した。

1-2 成果公開・普及

前述の部会, 委員会活動や受託事業で得られた調査・研究の成果並びに創立以来蓄積された石油及び周辺エネルギーに関する知見を様々な形で広く公開した。石油及びエネルギーに関する情報の普及に努めることで, 国民がこの分野に関心を持ち, 石油資源の現状とその有効利用に対する理解を深めること, 本分野の研究者・技術者のすそ野が拡大することを目指した。

1-2-1 講演会等(移動大学, 支部講演会, JPIJS講演会, 部会講演会)

(1) 石油啓発教育(移動大学等)

多くの方々に石油に関する理解や興味を深めてもらうため, 大学生(院生を含む)や一般市民を対象として, 移動大学「石油関連セミナー」を石油連盟の支援のもとに実施するとともにリレー講座を実施した。2025年度は, 移動大学では24の大学・機関において講義数58コマを実施し, リレー講座では4大学において講義数43コマを実施した。

(2) 支部講演会等

[北海道支部]

- 1) 第28回北海道支部講演会を企画し, 2025年5月9日(金)に実施した(札幌市)。
- 2) 第29回北海道支部講演会を企画し, 2025年8月26日(火)に実施した(札幌市)。
- 3) 第30回北海道支部講演会を企画し, 2025年12月8日(月)に実施した(札幌市)。
- 4) 第32回北海道支部講演会を企画し, 2026年1月30日(金)に実施した(札幌市)。
- 5) 日本化学会北海道支部2025年夏季研究発表会を2025年7月19日(土)に共催した(苫小牧市)。
- 6) 第14回実践的石油学講習を企画し, 2025年9月4日(木)に実施した(苫小牧市)。
- 7) 北海道支部北見地区講演会を企画し, 2025年12月3日(水)に実施した(北見市)。
- 8) 触媒学会北海道支部特別シンポジウム2025(第31回北海道支部講演会)を2025年12月9日(火)に触媒学会北海道支部と共催した(札幌市)。
- 9) 化学系学協会北海道支部2026年冬季研究発表会を2026年1月20日(火), 21日(水)に共催した(札幌市)。

[東北支部]

- 1) 2025年度東北支部講演会「資源循環型社会の構築に向けて」を企画し, 2025年6月27日(金)に実施した(仙台市)。
- 2) 2025年10月29日(水)~31日(金)に開催された郡山大会(第55回石油・石油化学討論会)では, 実行委員会を組織し, 準備・運営に協力した。

[東海支部]

- 1) 第14回東海支部講演会を企画し, 2025年10月14日(火)に実施した(名古屋市)。
- 2) 学生向け企業見学会・講演会を企画し, 2026年1月30日(金)に実施した(知多市)。
- 3) 東海地区の3製油所・事業所にて学部・大学院生を対象として行われたインターンシップ事業に協力した。
- 4) 第56回中部化学関係学協会支部連合秋季大会を2025年11月8日(土), 9日(日)に共催した(岐阜市)。

[関西支部]

- 1) 企業・研究機関見学会を企画し, 2025年6月5日(木)に実施した(堺市)

- 2) 第31回学生企業見学会を企画し、2025年11月28日(金)に実施した(堺市)。
- 3) 第32回関西支部セミナーを企画し、2025年10月17日(金)に日本エネルギー学会関西支部と共催した(大阪市)。
- 4) 第34回関西支部研究発表会を企画し、2025年12月12日(金)に日本エネルギー学会関西支部と共催した(京都市)。
- 5) コロキウム2025を2025年8月28日(木)に日本エネルギー学会関西支部、JPIJSと共催した(姫路市)。

[中国・四国支部]

- 1) 第42回中国・四国支部講演会を企画し、2025年10月16日(木)に実施した(高松市)。
- 2) 第28回中国・四国支部技術交流会を企画し、2025年12月22日(月)に実施した(オンライン)。
- 3) 中国・四国地区の2事業所にて学部・大学院生を対象として行われたインターンシップ事業に協力した。

[九州・沖縄支部]

第53回九州・沖縄支部講演会を企画し、2026年3月10日(火)に実施した(大牟田市)。

(3) JPIJS講演会

- 1) 第67回年会において、第29回若手研究者のためのポスターセッションを開催し、優秀ポスター賞を6件選定し授与した。
- 2) 郡山大会(第55回石油・石油化学討論会)において、国際セッションを企画し、優秀賞を2件選定し授与した。
- 3) JPIJS講演会を企画し、2025年11月1日(土)に開催した(郡山市, オンライン)。
- 4) プロセス分科会と合同でJPIJS討論会を企画し、2025年7月3日(木)に開催した(金沢市, オンライン)。
- 5) 第15回次世代天然ガス利用を考える若手勉強会を企画し、2025年7月26日(土)に仙台市で開催した。
- 6) 第16回次世代天然ガス利用を考える若手勉強会を企画し、2025年11月22日(土)に目黒区で開催した。
- 7) 『ペトロテック』に「JPIJSだより」として行事報告等を掲載した。
- 8) その他、全国においての活動は次のとおりである。
 - a) 第35回若手ケミカルエンジニア討論会を2025年6月13日(金), 14日(土)に化学工学会九州支部と共催した(別府市)。
 - b) 第63回オーロラセミナーを2025年7月13日(日), 14日(月)に触媒学会と共催した(札幌市)。
 - c) 第34回関西支部研究発表会を2025年12月12日(金)に日本エネルギー学会関西支部, 石油学会関西支部と共催した(大阪市)。
 - d) コロキウム2025を2025年8月28日(木)に日本エネルギー学会関西支部, 石油学会関西支部と共催した(姫路市)。

(4) 部会講演会

[資源部会]

- 1) 資源講演会「低炭素社会へ向けたエネルギー資源産業の多様なアプローチ」を企画し、2026年3月10日(金)に実施した。
- 2) 郡山大会(第55回石油・石油化学討論会)において「資源開発」のセッションを企画し、協力した。

[精製部会]

- 1) 精製講演会「低炭素社会におけるエネルギー産業の未来～政策・技術の最前線～」を企画し、2025年10月8日(水)に実施した。

- 2) 第50回精製パネル討論会を企画し、2026年2月20日(金)に実施した。

[石油化学部会]

- 1) 石油化学部会シンポジウム「二酸化炭素の回収・変換技術」を企画し、2025年6月24日(火)に実施した。
- 2) 郡山大会(第55回石油・石油化学討論会)において「石油精製・石油化学における水銀・硫化水素・リチウム・バナジウム等の微量化合物の除去」「ポリマー・オリゴマー」「バイオマス利用技術の新展開」「水素・エネルギーキャリア・CCU」のセッションを企画し、協力した。

[製品部会]

- 1) 2025石油製品討論会を企画し、2025年12月17日(水)に実施した。
- 2) 絶縁油分科会では、第45回絶縁油分科会研究発表会を企画し、2025年6月6日(金)に実施した。
また、第7回絶縁油分科会後継者育成講習会を企画し、2026年11月13日(木)に実施した。

[装置部会 装置委員会]

- 1) 郡山大会(第55回石油・石油化学討論会)において「装置・設備保全」のセッションを企画し、協力した。
- 2) 回転機分科会では、第24回 回転機研究討論会を2025年10月3日(金)に企画し、実施した。
- 3) 配管分科会では、第20回配管技術セミナーを2025年10月24日(金)に企画し、実施した。
- 4) 設備保全分科会では、第55回装置研究討論会を2025年12月12日(金)に企画し、実施した。
- 5) 計装分科会では、第40回計装研究討論会を2026年3月6日(金)に企画し、実施した。
- 6) 電気分科会では、第24回電気研究討論会を2026年3月12日(木)に企画し、実施した。

[装置部会 設備維持規格委員会]

屋外貯蔵タンク維持規格分科会では、第4回屋外貯蔵タンクセミナーを2025年11月14日(金)に企画し、実施した。

[経営情報部会]

郡山大会(第55回石油・石油化学討論会)において「デジタル技術・経営改革」のセッションを企画し、協力した。

[新エネルギー部会]

- 1) 新エネルギー部会講演会「カーボンニュートラル実現に向けた水素・CO2利活用の現状と課題」を企画し、2025年12月4日(木)に実施した。
- 2) 郡山大会(第55回石油・石油化学討論会)において「バイオマス利用技術の新展開」及び「水素・エネルギーキャリア・CCU」のセッションを企画し、協力した。

1-2-2 規格の制定・普及

[製品部会]

試験分析分科会では次の規格の見直しを実施した。

- * 5S-62-11 [石油製品—金属分試験方法]
- * 5S-64-02 [石油製品—塩素分試験方法—微量電量滴定法]

絶縁油分科会では次の規格の見直しを実施した。

- * 5S-58-99 [フルフラーンの定量試験方法]
- * 5R-51-98 [油入電気機器からのガス及び絶縁油の採取と遊離及び溶存ガス分析方法]

[装置部会 装置委員会]

1) 機器分科会

次の規格の見直しを実施した。

- * 7S-6-10 [塔類保温サポートリング]
- * 7S-8-18 [塔類プラットホーム及びラダー]
- * 7R-28-15 [塔そう類温度圧力基準]

- * 7R-35-13 [スカートを有する塔そう類の強度計算]
- * 7R-52-14 [横置容器サドル周り強度計算]
- * 7B-44-20 [石油工業用熱交換器フランジ]
- * 7R-72-06 [縦形容器用ラグサポート]
- * 7R-86-20 [機器の基礎ボルト]

次の規格の改訂を実施した。

- * 7S-42-25 [塔, そう, 熱交換器検査基準] 2025年12月22日改訂

2) 配管分科会

次の規格の見直しを実施した。

- * 7S-14-97 [石油工業配管用アーク溶接鋼管]
- * 7S-15-11 [石油工業用フランジ]
- * 7S-23-18 [石油工業用リングジョイントガスケット及び溝]
- * 7S-39-19 [バルブの検査基準]
- * 7S-41-18 [配管用うず巻形ガスケット]
- * 7S-46-18 [鋳鋼製フランジ形及び突合せ溶接形弁]
- * 7S-58-07 [ステンレス鋼鋳鋼製フランジ形軽量耐食弁]
- * 7S-75-19 [配管用PTFE被覆ガスケット及びPTFEソリッドガスケット]
- * 7S-77-18 [石油工業用プラントの配管基準]
- * 7S-84-96 [石油工業用鋼製ボス、ブランチアウトレット及びプラグ]

次の規格の改訂及び追補の公開を実施した。

- * 7S-79-18 [配管用膨張黒鉛シートガスケット] 追補
- * 7S-24-25 [バルブの表示方式] 2025年10月31日改訂
- * 7S-67-18 [石油工業用バルブの基盤規格] 追補
- * 7R-68-25 [バルブの操作方式] 2025年10月31日改訂

[装置部会 設備維持規格委員会]

1) 次の規格の改訂及び追補の公開を実施した。

- * 8S-1-23 [配管維持規格] 追補
- * 8S-2-21 [設備維持規格] 追補
- * 8S-6-25 [屋外貯蔵タンク維持規格] 2025年11月4日改訂
- * 8R-11-24 [防食管理] 追補
- * 8R-12-24 [劣化損傷の評価と対応] 追補
- * 8R-13-25 [検査技術] 2025年10月23日改訂
- * 8R-15-23 [フランジ・ボルト締付管理] 追補
- * 8R-16-25 [溶接補修] 2025年10月23日改訂

2) 設備維持規格の内容に関する講習会及び管理士資格保有者を対象とした更新講習会を2026年1月～2月に開催した。

1-2-3 設備維持管理士資格付与

(1) 資格付与

- 1) 設備維持管理士認証委員会において、設備維持規格の内容に関する認証のための評価試験を2026年2月1日(日)に東京及び大阪で実施した。その結果、所定の基準に達した174名(配管・設備81名, 回転機41名, 電気設備18名, 計装設備34名)に設備維持管理士資格を付与した。
- 2) 資格証明証の有効期限が2026年3月31日及び2027年3月31日の管理士資格保有者のうち所定の講習を受講したのに対し、設備維持管理士認証委員会において更新の承認を行った。その結果、271名(配管・設備149名, 回転機85名, 電気設備28名, 計装設備31名)が資格を更新した。

(2) 顕彰

設備維持管理士制度の認知を広げ、制度のさらなる普及を目的に、郡山大会で5事業所に対し設備維持管理士育成優良事業所の顕彰を行った。

1-2-4 会誌（一般誌）

(1) 会誌（『ペトロテック』月刊）を発行し、会員に配布したほか、一部外部に頒布した。

1) 各月の主な内容は次表のとおりである。

巻数 号数	第48巻									第49巻			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
時評	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
座談会・インタビュー	1	0	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1	8
一般総説・資料	6	15	7	9	11	7	8	12	8	9	11	11	114
在外研究MAP	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
私事白書	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
My研究室ライブ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
讃嘆石油史！	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ふるさと自慢	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	12
最近始めたこと	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
私の宝物自慢	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	5
海外行ってみた	0	1	1	0	1	2	1	0	0	1	1	1	9
JPIJSだより	1	1	1	1	1	1	2	1	0	2	1	1	13
エネルギー知ってるはず	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	11
おすすめの一冊	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
委員会・部会報告	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	6
目次裏統計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
全頁数	64	100	64	64	62	70	66	66	70	66	70	76	838

(2024年度 805頁)

2) 特集記事を以下のとおり掲載した。

*2025年5月号「ようこそ石油・石油化学業界へ2025」

*2025年9月号「2024年度受賞講演（1）」

*2025年10月号「2024年度受賞講演（2）」

*2025年11月号「JPIJS若手研究者のためのポスターセッション優秀賞の紹介」

3) その他、論文誌掲載論文目次、学会活動を報告する「学会の窓」などを掲載した。

(2) ペトロテック検索データベースを、毎月の雑誌到着と同時期に更新した（収録するpdfデータはカラー）。

1-2-5 広報

(1) 講演会、研究発表会等の学会活動を報道各社に紹介した。

(2) ホームページコンテンツの一層の充実を図るとともに、学会行事や学会活動の成果を随時ホームページにて紹介した。

(3) 会員を始めとするWeb閲覧者向けに実施している『ペトロテック』の過去掲載記事を検索・閲覧するサービスとして、第49巻第3号までの記事を公開した。

2. 研究・技術開発の支援

2-1 研究発表会、石油・石油化学討論会、論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究、技術開発の一層の推進を図るため、研究者や技術者の成果発表や情報交換の場として、研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催した。さらにこれらの成果を論文誌として刊行・公開した。

- (1) 第73回研究発表会を2025年5月27日(火)に開催した(東京都江戸川区)。
- (2) 郡山大会～疏水の町・郡山からエネルギーの未来を拓く～(第55回石油・石油化学討論会)を2025年10月29日(水)～31日(金)に開催した(郡山市)。
- (3) 論文誌『Journal of the Japan Petroleum Institute』(隔月刊)を発行し、冊子は公共会員(15部)及び外部に各号13部を頒布した。2025年度の掲載内容は次表のとおりで、第68巻第5号に広島大会特集論文、第69巻第2号に窒素循環触媒技術(NTA)特集論文を掲載した。

2025年1月号掲載記事より即時オープンアクセスとし、J-Stageに第68巻第2号までを公開した。

2025年の論文ダウンロード件数は約268,400件(うち海外は約217,200件)であった。

巻数	第68巻				第69巻		合計
号数	3	4	5	6	1	2	6
総合論文	3	1	1	3	4	3	15
一般論文	1	1	7	3	2	5	19
ノート	1	1	2			1	5
技術報告		1					1
レター							0
件数合計	5	4	10	6	6	9	40
全頁数	41	27	79	49	50	88	334

(参考：2024年度 219頁)

2-2 研究助成

2026年度の助成金交付対象者を以下の3名に決定した。

- (1) 「石油精製副生成硫黄を活用した資源循環型高機能シリコン材料の創出」
(助成額 80万円) 大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻 特任研究員 山脇 大昇 氏
- (2) 「機械学習によって予測した Pt 系合金中の Pt の Bader 電荷を指針とした第 2 級アルコールの脱水素触媒の開発」
(助成額 60万円) 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 准教授 高山 大鑑 氏
- (3) 「化石燃料輸入国モロッコにおける再エネ転換の経済効果 ～持続可能な開発戦略としての可能性～」(助成額 60万円) 東洋大学大学院経済学研究科 修士課程 1年 杉浦 はな 氏

2-3 表彰

石油学会表彰規程により、学会賞2件、論文賞2件、奨励賞4件、功績賞1件の授賞を決定した。

【収益事業等】

1. 受託事業

- (1) 製品部会ガソリン分科会において、石油連盟から「ガソリン車の燃料性状感度に関する調査」について受託し、調査を実施した。
- (2) 製品部会燃料油分科会において、石油連盟から「ディーゼル車の燃料供給システム調査」について受託し、調査を実施した。

2. 図書及び標準試料認証・販売事業

2-1 図書販売事業

石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に販売している以下の図書について、出版社より販売部数に応じて販売手数料を得た。

「新版 石油精製プロセス」 「新版 石油化学プロセス」

2-2 標準試料認証・販売事業

2025年度の認証数(販売数)は次のとおりである。硫黄分(1,579)、窒素分(162)、ニッケル・

バナジウム分 (27) , FIA用 (13) , 軽油硫黄分 (529) , 標準ガソリン (102) , 引火点 (1,654) , 分離確認用標準 (21) , 希釈用ガソリン (18) 。総計は4,105であった。

3. 溶接士認証事業

- (1) 2008年6月から(一社)日本溶接協会にJPI規格4種の免許証発行業務を移管している。2025年度の認証者数は719名で、現在までの累計認証者数は146,598名である。
- (2) 中国・四国・九州地区溶接功労賞受賞者5名の表彰を行った。

4. 会員交流事業

- (1) 製品部会潤滑油分科会では、JPI-5S-34-2001 [2サイクルガソリンエンジン清浄性評価法] 及び JPI-5S-15-2005 [陸用ディーゼルエンジンピストン評価法] を関連の業界技術者に普及するため、第50回レイティングシンポジウムを2025年10月24日(金)、11月28日(金)に開催した。
- (2) 製品部会ガソリン分科会では、オクタン価測定装置の整備技術の維持向上のため、CFRオクタン価エンジン整備講習会を2026年2月18日(水)、19日(木)に開催した。
- (3) 装置部会回転機分科会では、以下の活動を行った。
 - 1) メカニカルシール技術講座を2025年7月9日(水)～11日(金)、11月12日(水)～14日(金)、2026年2月25日(水)～2月27日(金)に開催した。
 - 2) ポンプ技術講座を2025年6月26日(木)、27日(金)に開催した。
 - 3) 往復動圧縮機教育講座を2026年2月19日(木)、20日(金)に開催した。
- (4) 装置部会計装分科会では、若手技術者の育成を目的に計装若手勉強会を2026年3月5日(木)に開催した。
- (5) 装置部会電気分科会では、若手技術者の育成・交流を目的とした若手勉強会を2025年9月4日(木)に開催した。
- (6) 装置部会圧力設備自主保安分科会では、現場保全技術者の教育を目的に第2回圧力設備保安セミナーを2025年11月26日(水)に開催した。
- (7) 講演会等の開催に併せて参加者の交流を目的に懇親会を開催した。
- (8) 年会、秋季大会において会員企業のPR展示を企画し、実施した。
- (9) 維持会員向けに事業活動等を説明・報告する維持会員交流会を2026年3月17日(火)に開催した。

5. 会員向けサービス

毎月1回、普通会员及び維持会員あてに本会の活動トピックス、行事案内、募集などを記載したメールマガジンを発信した。

【法人管理】

1. 庶務事項

2025年5月26日就任の新役員の登記手続きは6月に終了した。

2. 法人運営

- (1) 法人管理・運営にあたり、以下の会議を開催した。
 - 理事会 (5回)、運営会議 (5回)、顧問会 (1回)、役員等候補者選定委員会 (4回)、財務委員会 (3回)、職員人事委員会 (3回)、新しい石油学会のあり方検討WG (2回)
- (2) 下記規程類の改定を行った。
 - * 職員給与支給規程
 - * 正会員選任規程
 - * 役員等候補者選定規則

*設備維持管理士育成優良事業所表彰規則

(3) 会員増強活動として、次の取り組みを行った。

- 1) 普通会员初年度会費半額キャンペーンを実施した。
- 2) 主に企業の新入社員、若手社員を対象に、『ペトロテック』第48巻第5号に特集記事「ようこそ石油・石油化学業界へ 2025」を掲載し、入会勧誘活動を実施した。
- (4) 他学協会、その他の団体から事業の共催、協賛などの依頼を受けて積極的に協力した。

【会員数の状況】

2025年度末（2026年3月31日）と前年度末の会員数の比較は次表のとおりである。

項目 会員別	2025年 3月31日現在	2025年度会員数の増減			2026年 3月31日現在
		増	減	増または減	
名誉会員	42	3	4	△1	41
普通会员	2,050	50	162	△112	1,938
学生会員	141	53	72	△19	122
小 計	2,233	106	238	△132	2,101
維持会員					
特級	2	0	0	0	2
1級	11	0	1	△1	10
2級	9	0	0	0	9
3級	25	0	0	0	25
4級	25	0	0	0	25
5級	184	3	8	△5	179
小 計	256	3	9	△6	250
公共会員	15	0	0	0	15
総 合 計	2,504	109	247	△138	2,366

【委員会・部会の会合数】

2025年度の会合数は次表のとおりである（傘下の委員会を含む）。

会 合 名	数	会 合 名	数
通常総会	1	部会部門連絡会	1
理事会	5	資源部会	3
顧問会	1	精製部会	2
運営会議	5	プロセス分科会	13
財務委員会	3	石油化学部会	1
職員人事委員会	3	製品部会	4
役員等候補者選定委員会	4	ガソリン分科会	30
受託事業委員会	0	燃料油分科会	21
事業活性化委員会	0	潤滑油分科会	13
新しい石油学会のあり方検討WG	2	アスファルト分科会	3
支部長会議	1	絶縁油分科会	30
広報・会員拡大委員会	0	試験分析分科会	11
ペトロテック編集委員会	11	装置部会幹事会	3
Working Group 委員会	67	設備維持規格委員会	44
論文誌編集委員会	7	装置部会委員会	9
研究・技術企画委員会（含むWG）	4	機器分科会	3
表彰委員会	2	回転機分科会	18
表彰推薦委員会	1	配管分科会	25
表彰選考委員会	8	計装分科会	33
研究助成委員会	1	電気分科会	24
教育委員会（含むWG）	3	設備保全分科会	13
国際研究協力に関する受託事業実行委員会	4	保安分科会	6
認証部門連絡会	0	圧力設備自主保安分科会	4
設備維持管理士認証委員会	47	経営情報部会（含むWG）	19
溶接士検定委員会	2	新エネルギー部会	9
標準試料委員会	7	次世代バイオ燃料油分科会	2
		合 計	533

【講演会, 討論会, 研究発表会等の実施】

月	日	曜	名 称	開催地	講演数	参加者数
2025年						
5	26 27	月 火	第66回通常総会, 第67回年会—特別講演, 依頼講演, 受賞講演 第73回研究発表会, 第29回JPIJSポスターセッション	東京	39 P65	249
6	6	金	第45回絶縁油分科会研究発表会	京都 ハイブリッド	11	201
6	24	火	石油化学部会シンポジウム「二酸化炭素の回収・変換技術」	東京 ハイブリッド	4	86
9	18	木	2025年度保安セミナー	東京 ハイブリッド	4	78
10	3	金	第24回 回転機研究討論会	東京	5 WS5	255
10	8	水	2025年度精製講演会「低炭素社会におけるエネルギー産業の未来 ～政策・技術の最前線～」	東京 ハイブリッド	8	129
10	24	金	第20回配管技術セミナー	東京	4 PD3	68
10	29 30 31	水 木 金	郡山大会～疏水の町・郡山からエネルギーの未来を拓く～ —見学会 —特別講演, 招待講演, 市民講座, 懇親会 —第55回石油・石油化学討論会	郡山	210 P41	592
11	10 11	月 火	アラムコ-JPI/JCCPテクノロジーワークショップ (研究・技術)	ダーラン	15 P0	97
11	13	木	第7回絶縁油分科会後継者育成講習会	青森 ハイブリッド	3	103
11	14	金	第4回屋外貯蔵タンクセミナー	東京 ハイブリッド	6	71
12	4	木	新エネルギー部会講演会「カーボンニュートラル実現に向けた 水素・CO ₂ 利活用の現状と課題」	オンライン	7	9
12	12	金	第55回装置研究討論会	東京 ハイブリッド	6 PD1	150
12	17	月	2025 石油製品討論会	東京 ハイブリッド	8	91
2026年						
1	9	金	設備維持規格講習会, 一般講習会 (配管・設備)	オンライン	—	130
1	14	水	設備維持規格講習会, 一般及び更新講習会 (電気設備)	東京	—	44
1	15	木	設備維持規格講習会, 一般及び更新講習会 (計装設備)	東京	—	51
1	16	金	設備維持規格講習会, 一般及び更新講習会 (回転機)	東京	—	114
2	1	日	2025年度設備維持管理士認証のための評価試験 (配管・設備, 回転機, 電気設備, 計装設備)	東京 大阪	—	499
2	10 11	月 火	第22回日本クウェート合同シンポジウム (研究・技術)	クウェート	6 P23	90
2	13	金	設備維持管理士更新講習会 (配管・設備)	東京	—	97

2	16	月	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	京都	—	54
2	20	金	第50回精製パネル討論会	京都 ハイブリッド*	PD4	228
3	6	金	第40回計装研究討論会	東京 ハイブリッド*	4 PD1	145
3	10	火	資源講演会「低炭素社会へ向けたエネルギー資源産業の多様なアプローチ」	東京 ハイブリッド*	6	82
3	12	木	第24回電気研究討論会	東京 ハイブリッド*	6	93

P：ポスター，WS：ワークショップ，PD：パネルディスカッション

以上